

E-1

「聞き上手」が「話し上手」を育てる ～よく聞ける子、よく話せる子を育てるために～

「うちの子、学校の様子を話してくれなくて・・・」と、こぼす保護者がいます。では、お子さんに「話させる努力」、お子さんの話を「聞く工夫」をどれだけしているでしょうか。子供は元来、「話したがり」です。しかし、相手に「話しがい」がなければ、自然と話さなくなります。そして、コミュニケーションがどんどん減ってしまいます。そして、話を聞くということは、全ての学習の基礎となります。今回は、「聞ける子」「話せる子」を育てる方法を考えていきましょう。

エピソード

1年生のまことくんは、学校から帰るとお母さんに「お母さん、今日の給食の時間にね・・・」と話し始めました。するとお母さんは、「今、忙しいから後でね。」と返事をしました。

しばらくして、お母さんが、「今日は、学校でどんな勉強をしたの？」と聞いても、おじいちゃんが「一緒にキャッチボールしよう。」と誘っても、「後で・・・」と、ゲームから顔を上げません。

お母さんもおじいちゃんも、がっかりしています。



ワーク 1

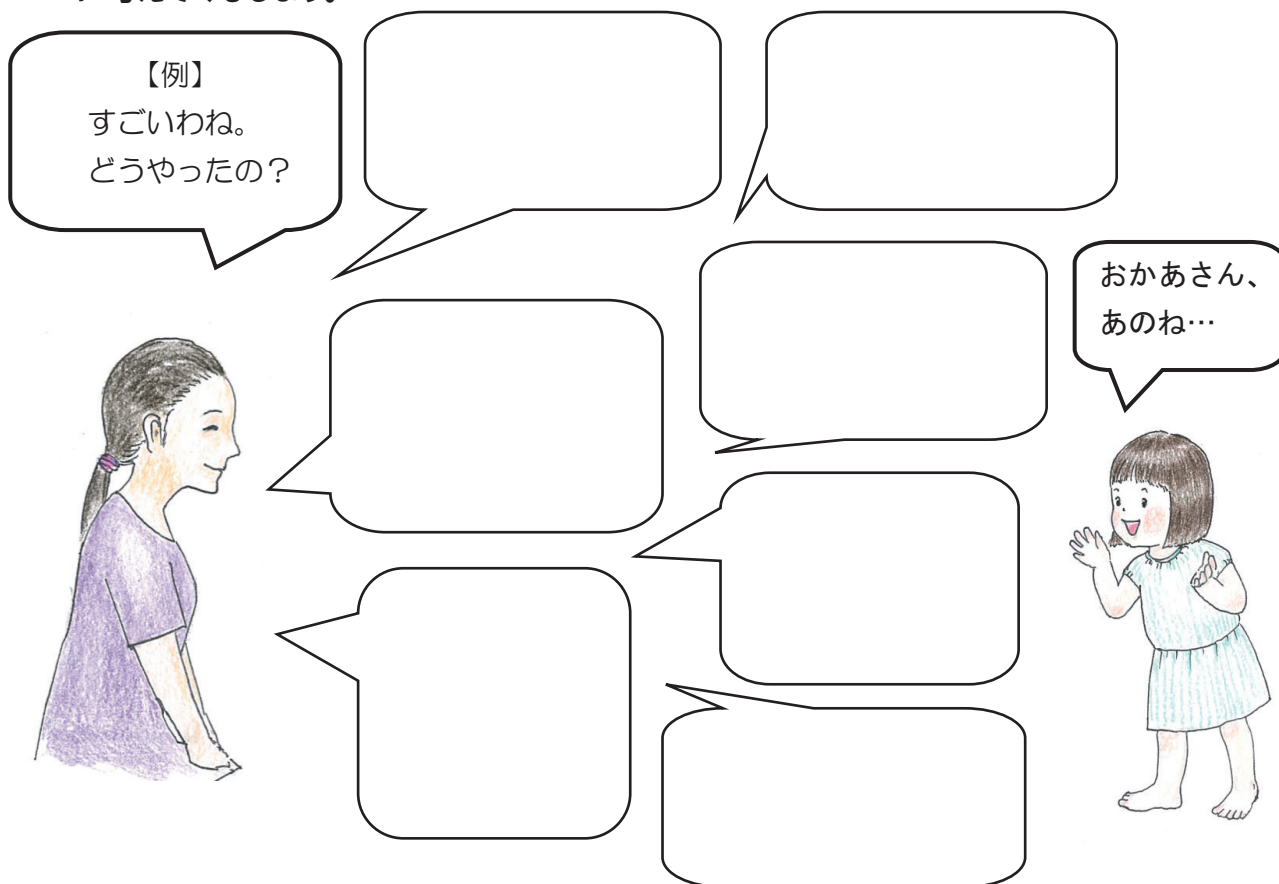
① エピソードを読んで、どう思いましたか。

② あなたは昨日、お子さんからどんな話を聞きましたか。

1日の中の どの時間で	
どこで	
内容	

ワーク 2

- ① お子さんから話を引き出すために、どのような言葉掛けや反応をすると良いでしょうか。家族の「聞く姿勢」は、子供が相手の話を聞く姿勢の「お手本」になります。できるだけ、具体的に考えてみましょう。



- ②グループで話し合ってみましょう。

ふりかえり ～本日の講座はいかがでしたか？～

☆知っていたこと.....

☆新しく知ったこと.....

☆今後の生活に生かせそうなことは何ですか？ 自由に書いてみましょう。

Large empty rounded rectangular box for writing answers.

【手引き】

E-1

「聞き上手」が「話し上手」を育てる
～よく聞ける子、よく話せる子を育てるために～

「うちの子、学校の様子を話してくれなくて・・・」と、こぼす保護者がいます。では、お子さんに「話させる努力」、お子さんの話を「聞く工夫」をどれだけしているでしょうか。子供は元来、「話したがり」です。しかし、相手に「話しがい」がなければ、自然と話さなくなります。そして、コミュニケーションがどんどん減ってしまいます。話を聞くということは、全ての学習の基礎となります。今回は、「聞ける子」「話せる子」を育てる方法を考えていきましょう。

エピソード

3分間

1年生のまことくんは、学校から帰るとお母さんに「お母さん、今日の給食の時間にね・・・」と話し始めました。するとお母さんは、「今、忙しいから後でね。」と返事をしました。しばらくして、お母さんが、「今日は、学校でどんな勉強をしたの?」と聞いても、おじいちゃんが「一緒にキャッチボールしよう。」と誘っても、「後で・・・」と、ゲームから顔を上げません。お母さんもおじいちゃんも、がっかりしています。



ワーク 1

5分間

① エピソードを読んで、どう思いましたか。

【ポイント】まことくんは、最初は自分からお母さんに話し掛けましたが、聞いてもらえませんでした。「話しがい」を感じなかったため、次にお母さんやおじいちゃんから話し掛けられても、話をしようとしません。「子供が話をしない」という原因の一つには、聞く側の姿勢にあることにも気付いてもらいましょう。

② あなたは昨日、お子さんからどんな話を聞きましたか。

10分間

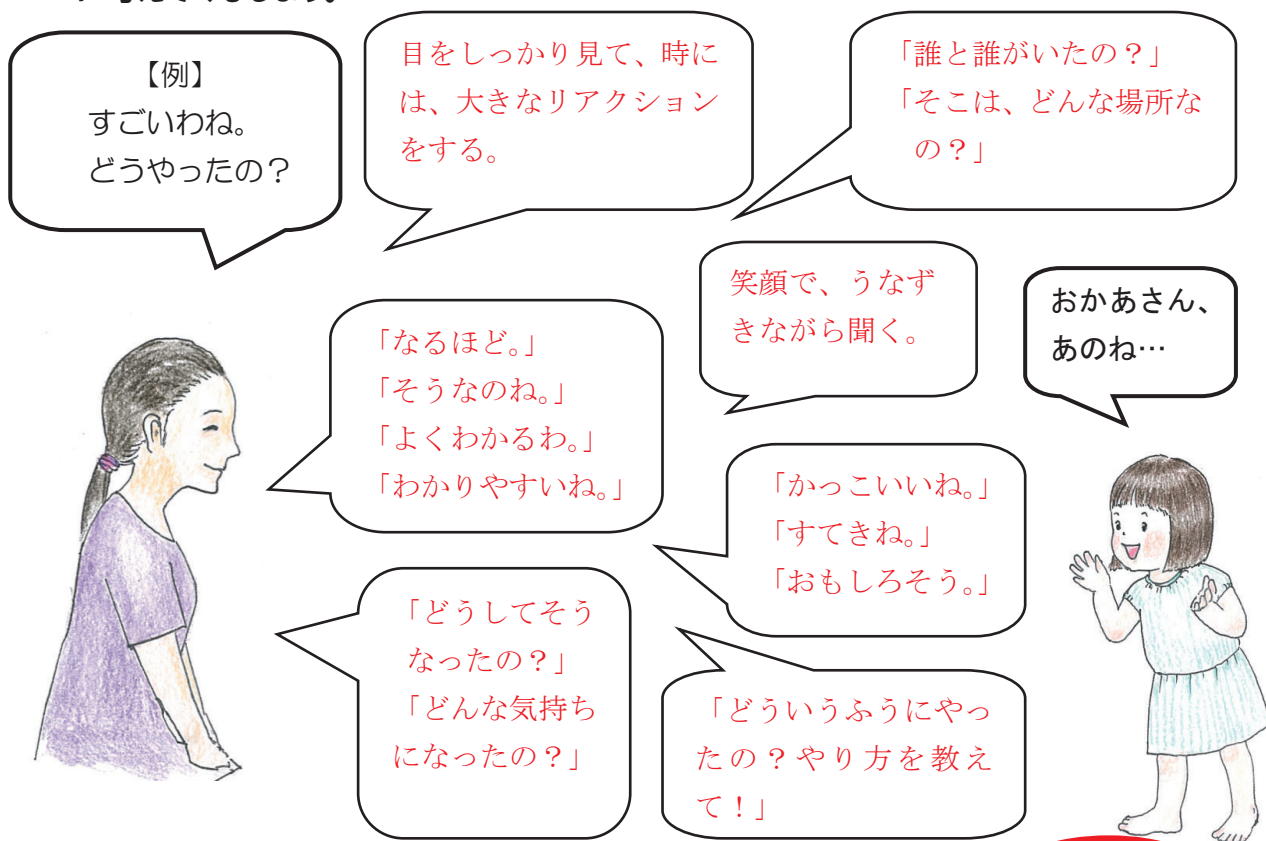
1日の中のどの時間で	【例】・夜、寝る前に ・お風呂に入ったときに ・夕食で ・習いごとの送り迎えのときに
どこで	・寝室で ・お風呂で ・食卓で ・車の中で
内容	・友達と公園で遊んだこと ・先生に字が上手だとほめられたこと ・休み時間に友達とけんかしたこと

【ポイント】ここでは、自分の家庭を振り返ってもらいましょう。家族とコミュニケーションが図れているでしょうか。できるだけ詳しく書いてもらいましょう。

ワーク 2

15分間

- ① お子さんから話を引き出すために、どのような言葉掛けや対応をすると良いでしょうか。家族の「聞く姿勢」は、子供が相手の話を聞く姿勢の「お手本」になります。できるだけ、具体的に考えてみましょう。



7分間

- ② グループで話し合ってみましょう。

【ポイント】話を聞くときの表情や、子供の話を受け止めたり、子供の話を引き出したりする言葉掛けが出てくることが予想されます。ただ、年齢が低いほど、「なぜ」「どうして」は答えにくい場合もあるので、お子さんの様子から具体的に答えることができるような投げ掛け（「公園にはブランコがあったの？滑り台があったの？」）も必要であることを伝えましょう。

子供の話を受け止める言葉や、子供の話を引き出す言葉がたくさん出てくるといいですね。ここで出し合うことで、子供との会話の中で、使うことができるようになるでしょう。

☆知っていたこと.....

☆新しく知ったこと.....

☆今後の生活に生かせそうなことは何ですか？ 自由に書いてみましょう。

5分間

【まとめ】

大正から昭和にかけて活躍した幼児教育の研究・実践家の倉橋惣三の文を紹介するなど、子供に共感することの大切さを話してください。